

令和6年3月6日

保護者様

今治市立大三島小学校長 高杉 秀夫

学校評価(教職員・児童・保護者)・学校関係者評価のご報告

早春の候、日頃より、本校教育のため、深いご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価についてまとめましたので、下記のように報告させていただきます。また、学校関係者評価委員会を開催し、地域の方々から評価や助言をいただきましたので、併せて報告させていただきます。

今後とも、よりよい大三島小学校になるようにがんばっていきたいと考えています。

記

1 教職員の自己評価から(○成果●課題) 別添えの資料①を参照にしてください。

- A評価が9項目、B評価が6項目、C評価が2項目(昨年度はA評価が10項目、B評価5項目、)
- 1学期より、評価上昇4項目
仲間づくり(3.4)、家庭学習の推進(3.4)、学校安全(3.3)、効率的な学習(3.3)
- 1学期より評価下降2項目
ふるさと学習(3.1)、学校は楽しいか(2.9)

2 児童アンケートから(○成果●課題) ※別添えの資料②を参照にしてください。

- A評価が8項目(昨年度6項目)あり、数値も高いです。
- 特に数値が高い項目から、人間関係が良好で、学校生活を楽しく送っている児童が多いことが伺えます。
「友達となかよく」(3.8)、「学校生活を楽しく」(3.8)。
- C評価はなし

3 保護者アンケートから(○成果●課題) ※別添えの資料③を参照にしてください。

- A評価2項目(昨年度4項目)あり、児童の「友達と仲よく」や「楽しく学校生活を」は、昨年に引き続きA評価でした。
・「友達と仲よく」(3.6) ・「楽しく学校生活を送っている」(3.6)
- C評価が5項目(昨年度4項目)、D評価が2項目(昨年度1項目)あり、特にC評価の「ICT 機器」「テレビ、ゲーム、インターネットの時間」「地域を大切に」は、昨年度と比べて、数値も大幅に下降していました。ただし、ICT 機器については評価項目が昨年度は「興味を持って取り組んでいる」だったのが、今年度は「効果的に学習に使っている」に変更していることも下降の要因だと思われます。
・「ICT 機器」(2.8) ・「テレビやゲーム・インターネットの時間」(2.2) ・「地域を大切に」(3.0)
- 「思考力・判断力・表現力」については、B評価ですが、昨年度と比べると、大幅に下がっています。
・「思考力・判断力・表現力」(3.0)

4 上記1～3の比較から(○成果●課題) ※別添えの資料①②③を参照にしてください。

○ 学力の向上について

自己評価や児童アンケート、保護者アンケートの全てで、数値が上昇したり、高評価となったりする項目が多く見られました。

- ・ 児童アンケートでは、「自分の考えを進んで発表したり書いたりした」「家庭での学習」が昨年度より上昇しています。特に家庭学習の推進は教職員の自己評価でも上昇しています。今年度新たに始めた+αノートも成果の要因だと思われます。
- ・ 今後も、CRTテスト(1～2年)、また毎月行われる10分間集中テストにおいて、基礎学力の向上を成果として実感できるように学習事項の定着に注力し、継続していきます。

○ ふるさと学習の推進について

教職員の自己評価では昨年度 C でしたが、今年度は1学期 A、2学期 B となっています。今治市では、今年度から小学3年生から中学2年生までで「ふるさとキャリア教育」が始まりました。今年度の取組を見直し、来年度の学習へとつなげたいと思います。また、地域の人材発掘や企業の協力を得るなどし、ふるさと学習を深めて推進していきます。

○ 業務や行事の見直し

今年度は ICT を活用したり、学校行事等についても、その都度、改善したりしながら進めることができました。たくさんの目で日々業務を見直し、教員間でもアイデアを出し合いながら、さらに業務改善を進めていきたいと思います。

● 基本的な生活習慣の啓発

保護者アンケートの「早寝・早起き」「家の手伝い」「テレビやゲーム、インターネットの時間」「家庭学習」は、ご家庭の協力が必要な項目です。学校便りや学年便り、家庭学習便りなどを通じて、啓発を行ってきたいと思います。

5 学校関係者評価より

大三島支所長、大三島支所職員、元PTA会長2名、社会福祉協議会職員、地域おこし協力隊員の方に集まっていただき、学校関係者評価委員会を開催しました。学校の取組や学校評価の結果を報告した後、以下のような評価や助言をいただきました。

○ 教員の超過勤務は増えているのか。知り合いが他県で教員をしている。「学校って大変なんでしょ」と尋ねたら、「そんなことはない。17時には退勤している」とのことだった。県によっても違うのだろうか。

○ +αノート、よい取組だと思う。

「保護者アンケート」でのご意見ありがとうございました。今後も、家庭と連携した学校教育を行っていきたいと思います。

令和5年度 学校評価の結果

大三島小学校

資料①I (教職員による自己評価)

(※ 4;できた 3;まあまあできた 2;あまりできなかった 1;できなかった
 ... 4段階評価)

数値は、「各教職員の評価」の合計点÷人数
 評定は、3.3以上=A,3.3未満~3以上=B,3未満~2.7以上=C,2.7未満=D

	評価項目(4段階評価)	1学期		2学期	
		数値	評定	数値	評定
1	基礎学力(分かる・できる楽しさ)の向上に努めたか。	3.3	A	3.4	A
2	思考力・判断力・表現力を育成する場を設定したか。	2.9	C	3.1	B
3	ICT活用による授業改善に努めたか。	3.0	B	3.0	B
4	認め合い、励まし合い、支え合う仲間づくりに努めたか。	3.0	B	3.4	A
5	あいさつ運動の推進に努めたか。	3.6	A	3.5	A
6	ふるさと学習の推進に努めたか。	3.3	A	3.1	B
7	健康・体力向上への意識づけに努めたか。	3.4	A	3.3	A
8	いじめ等の生徒指導面の課題において、早期対応に努めたか。	3.6	A	3.6	A
9	家庭学習の推進に努めたか。	3.1	B	3.4	A
10	ファミリー会議、チャレンジ週間をうまく活用したか。	3.1	B	3.1	B
11	学校の一員として、協働体制をとって校務を進めることができたか。	3.2	B	3.2	B
12	学校安全に関心をもち、事故を防止するように努めたか。	3.2	B	3.3	A
13	公文書・諸表簿の保管や個人情報の厳重な管理を行うことができたか。	3.4	A	3.4	A
14	学校行事や業務の見直しに主体的に参加したか。	2.8	C	2.9	C
15	工夫して、効率的に学習を行うことができたか。	2.9	C	3.3	A
16	超過勤務時間の削減に努めたか。	3.1	B	3.1	B
17	学校は楽しいですか。	3.3	A	2.9	C

資料② (児童アンケート結果)

数値は、「児童又は保護者の評価」の合計点÷人数
 評定は、3.3以上=A, 3.3未満~3以上=B, 3未満~2.7以上=C, 2.7未満=D

評価項目		児童	
1	わたしは、授業で分かったり、できたりしたことがたくさんあった。	3.4	A
2	わたしは、自分の考えを進んで発表したり書いたりした。	3.3	A
3	わたしは、タブレットや電子黒板を使って学習に生かすことができた。	3.6	A
4	わたしは、友達となかよくできた。	3.8	A
5	わたしは、あいさつがよくできた。	3.6	A
6	わたしは、地域のことについて調べたり、まとめたり、発表したりすることができた。	3.1	B
7	わたしは、体力づくりに取り組んだ。	3.6	A
8	わたしは、早寝早起きができた。	3.0	B
9	わたしは、家庭の手伝いがよくできた。	3.2	B
10	わたしは、テレビやゲーム、インターネットの時間を決めてできた。	3.0	B
11	わたしは、家庭での学習がよくできた。	3.4	A
12	わたしは、学校生活を楽しく過ごすことができた。	3.8	A

資料③ (保護者アンケート結果)

数値は、「児童又は保護者の評価」の合計点÷人数
 評定は、3.3以上=A, 3.3未満~3以上=B, 3未満~2.7以上=C, 2.7未満=D

評価項目		保護者	
1	お子さんは、基礎的な学力を向上させている。	3.1	B
2	お子さんは、思考力・判断力・表現力を高めている。	3.0	B
3	お子さんは、タブレットなどのICT機器を効果的に学習に使っている。	2.8	C
4	お子さんは、友達と仲よく学校生活を送っている。	3.6	A
5	お子さんは、あいさつがよくできている。	3.0	B
6	お子さんは、地域を大切にしようとしている。	2.9	C
7	お子さんは、体力づくりに取り組んでいる。	2.9	C
8	お子さんは、早寝早起きができている。	2.7	C
9	お子さんは、手伝いができている。	2.6	D
10	お子さんは、テレビやゲーム、インターネットの時間を決めてしている。	2.2	D
11	お子さんは、家庭学習ができている。 (1年20分、2年30分、3・4年40分、5・6年50分)	2.9	C
12	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	3.6	A
13	わたしは、お子さんといっしょに学校生活を楽しんでいる。	3.1	B